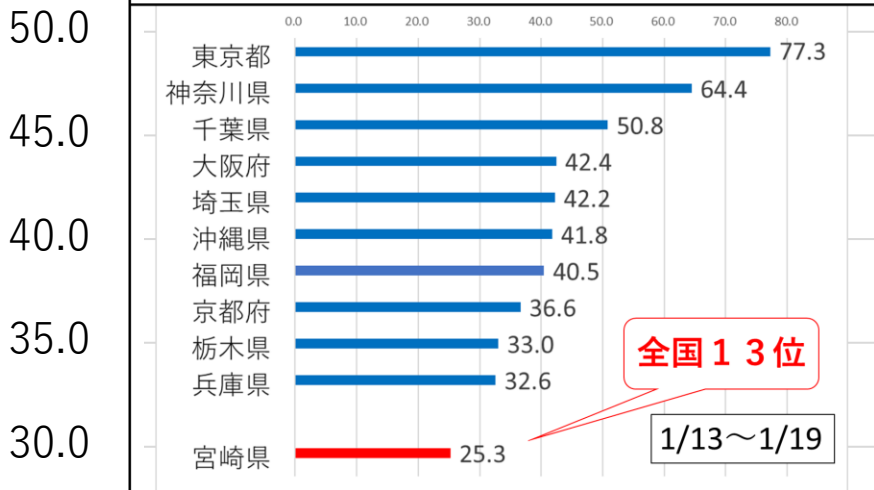


本県の直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数

全国の直近1週間人口10万人あたりの新規感染者数

緊急事態宣言を発令



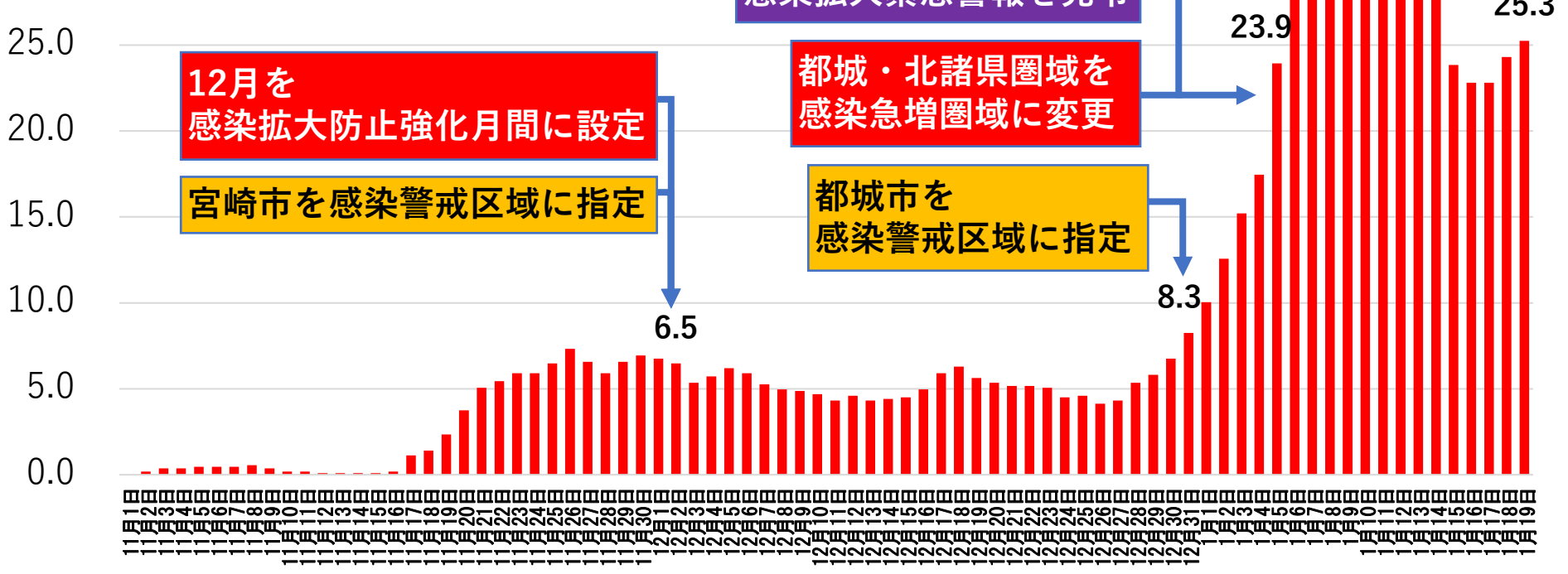
感染拡大緊急警報を発令

**12月を
感染拡大防止強化月間に設定**

宮崎市を感染警戒区域に指定

**都城・北諸県圏域を
感染急増圏域に変更**

**都城市を
感染警戒区域に指定**



令和3年1月5日短評(12/24~1/6)

1 感染者数、感染経路等

感染者は、急増して過去最高となっており、面的にも県内2圏域でステージ4、4圏域でステージ3の状況にある。県内全域で爆発的に感染が拡大している。また、感染経路不明な例も続発している。

2 感染等の特徴

県外との往来に端を発した感染が、会食、職場、家族・親族等を通して拡大している。特に、宮崎市や都城市では、高齢者施設、延岡市では運動施設でクラスターが発生している。

3 感染者の状況等

無症状者・軽症者が多く、重症者は少ないが、重症化リスクの高い高齢者が増加している。また、基礎疾患のある高齢者の死亡が続いている。

4 医療提供体制等

療養者数・入院者数が急増しており、深刻な医療提供体制の機能不全に直面する恐れ

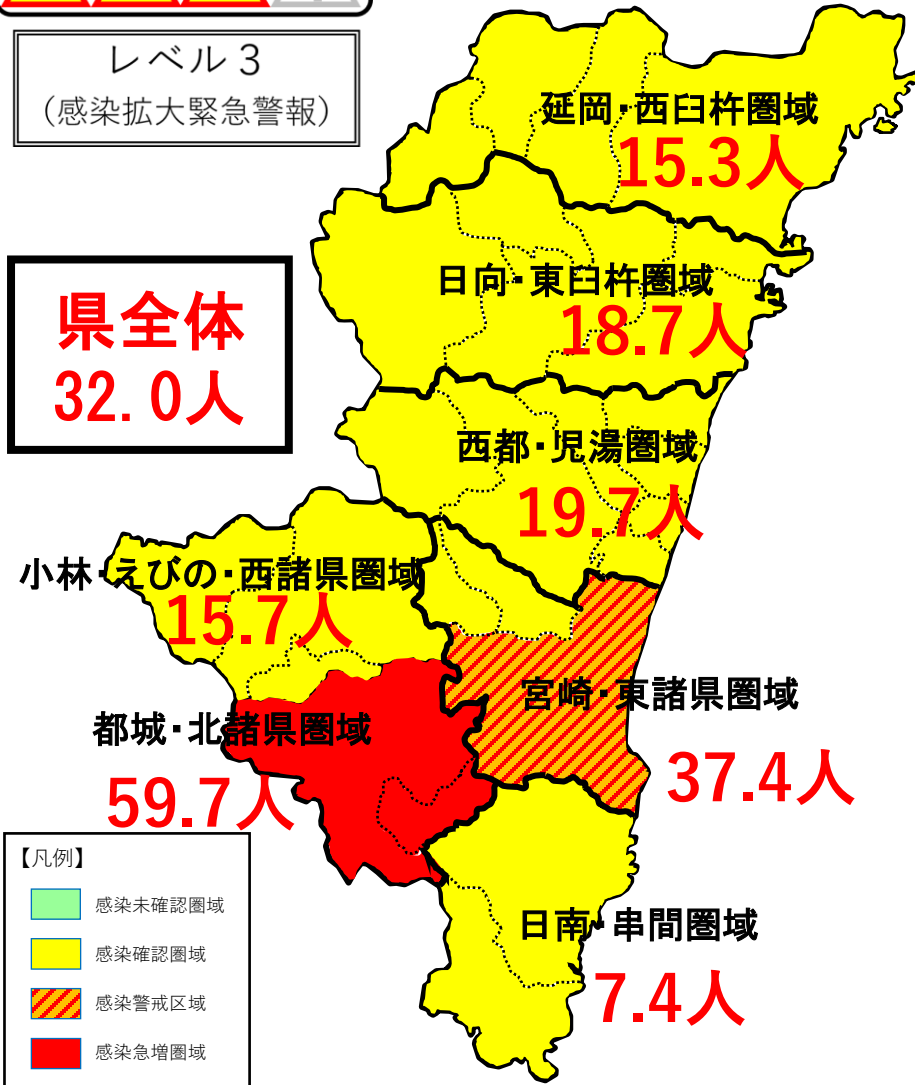
※下線部は、先週から評価が変更した箇所

直近1週間の人口10万人当たり感染者数



レベル3
(感染拡大緊急警報)

県全体
32.0人



【凡例】

- 感染未確認圏域
- 感染確認圏域
- 感染警戒区域
- 感染急増圏域

令和3年1月6日時点（1098例目まで）

令和3年1月20日短評(1/6～1/19)

1 感染者数、感染経路等

感染は、先週の爆発的な急増と比較して今週は減少してはいるが、十分に鎮静化していない。面的にも宮崎東諸県圏域はステージ4、4圏域でステージ3相当の状況にあり、保険適用検査が増加し、感染経路不明な例がまだ残る。

2 感染等の特徴

年末年始の人の移動や県外者(帰省等)との接触に端を発した感染が、会食、職場、家族・親族等を通して拡がり、宮崎市で感染が続いているほか、他圏域での感染の火種が残る。特に、高齢者施設、医療機関、スポーツジムなど、クラスターが続発。

3 感染者の状況等

基礎疾患のある高齢者の死亡が続き、また、行政検査により無症状者が多く確認されている。

4 医療提供体制等

医療提供体制のひっ迫が極めて深刻化。重症者が過去最多、宮崎東諸県圏域では実質的に満床に近く、入院調整が綱渡りとなっており、他圏域への搬送が続く。

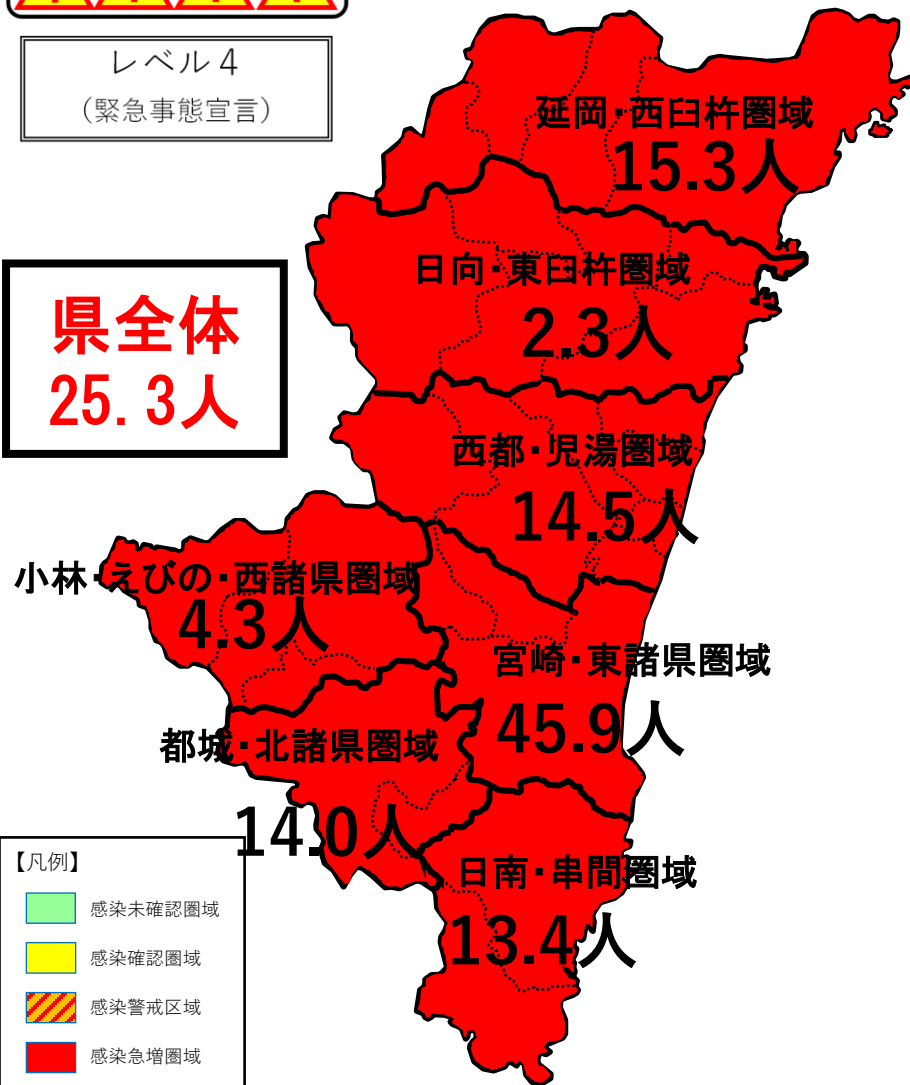
※下線部は、先週からの主な変更箇所

直近1週間の人口10万人当たり感染者数



レベル4
(緊急事態宣言)

県全体
25.3人



令和3年1月19日時点（1647例目まで）

感染状況の分析（推定）

- 県独自の緊急事態宣言の発令により、爆発的な感染拡大が続く事態は防げた
 - ただし、未だに感染者数は高止まりの状況
 - 十分な鎮静化にはもう少し時間がかかる
- ⇒ 緊急事態宣言を今しばし継続した上で、
- ・ 県民一丸での行動要請の徹底（人との接触機会減等の徹底）
 - ・ 高齢者施設等での対策強化などを進めていく必要

本県での感染実例（推定）

帰県者との接触のケース

・ 県外から帰省した若者Aと会食した宮崎の若者Bが感染し、発熱したにもかかわらず、1週間、医療機関を受診せず、感染を拡げた恐れ

飲食店のケース

・ 職場仲間で飲みに行き、お客同士で感染し、その後、職場に感染が広がった。

（お店側は、ガイドラインを遵守しており、店員からお客への感染ではなかった。）



職場のケース①

・ 体調が悪かったが、無理して出勤していたら、職場の同僚にうつしてしまい、集団感染になった。



職場のケース②

・ 休憩時間に、数人で、喫煙所でマスクなしで会話をしていたら、感染してしまった。



ホームパーティのケース

・ 同じ職場の仲間でホームパーティを行い、感染してしまった。



セミナーのケース

・ 受講生は、全員マスクをしていたが、講師がマスクなしで至近距離で、講演したところ、感染してしまった。



カラオケのケース

・ 複数組の高齢者が、カラオケ店に行ったところ、集団感染となった。



運動施設のケース

・ 運動施設で、休憩中や更衣室で、マスクを取って会話（水を飲む際も含め）をしていたところ、集団感染となった。



1月23日以降の対応

1 警報レベル

○レベル4（緊急事態宣言）を継続する。

【考え方】

- 7日の宣言は、全県下における感染爆発の抑制には一定の効果があったものの、国指標のステージ3に向かう状況には至っておらず、本県全体の感染状況は、国指標の「ステージ4相当」の状況にある。
- 特に宮崎・東諸県圏域においては、「ステージ4」を超える厳しい状況が続いている。また、クラスターが頻発するなど、県内各地域に感染拡大の火種が残っている。
- 隣県をはじめ、九州内においても新規感染が沈静化していない状況。

2 圏域毎の感染区分と行動要請

○県内のすべての圏域で、赤（感染急増圏域）を継続

※次ページ参照

3 期間

2 / 7を目途に感染の状況を見極めながら判断

具体的な行動要請等

緊急事態宣言		全県下で2月7日まで延長
圏域区分		全圏域で赤を継続
県民への行動要請	圏域内における外出	原則、外出自粛 (特に20時以降の外出自粛を徹底)
	飲食店への時短要請	時短継続 (GoToEatキャンペーンは、時短要請の対象時間<20時~5時>のみ利用自粛)
	県外との往来	原則、往来自粛
	イベント	中止または延期
	会食	4人以下、2時間以内
	高齢者・基礎疾患所有者、 高齢者施設・医療機関従事者	会食はいつも過ごしている方に限るよう留意
	テレワーク・時差出勤	推 奨
	高齢者施設・障がい者施設	面会制限、些細な風邪症状でも医療機関を受診・検査
	感染防止対策	「うつらない」「うつさない」ための感染防止行動 「みやざきモデル」の徹底
その他	緊急事態宣言地からの来県	自 粛
	スポーツキャンプ関係者	県民に求めるものと同様の最大限の行動要請 (キャンプ地所在の圏域毎の行動要請)

時短要請の延長に伴う措置について

○酒類提供飲食店及びその他飲食店に対する営業時間短縮要請

(要請期間)1月23日～2月7日

(要請内容)午前5時～午後8時の間の営業(酒類提供は午後7時まで)

(協力金額)現行のスキーム(64万円:店舗単位)

(財源等)国8割:県1割:市町村1割 ※事務費は全額県負担

飲食関連事業者等への支援について

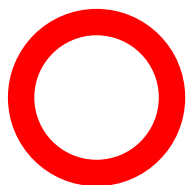
- 飲食店への時短要請により、酒屋、おしぼり提供事業者といった取引のある事業者が直接的な影響を受けている。

国に要望をしているところであるが、県としても、その検討状況を踏まえながら、どのような対応が必要か、市町村とも連携して検討していく。

消費喚起対策等について

- 外出自粛等により経済活動が停滞をしている。
経済回復に向けた消費喚起についても、市町村とも連携し、検討していく。

「緊急事態宣言」下での外出等



- ① 日常生活の範囲内の外出
通勤、通学、通園、通院、買い物、屋外での運動や散歩など
- ② 御家族など普段接する方との
屋外での運動・散歩（ソーシャルディスタンスをとって）
外出・会食（4人以下、2時間以内）



- ① 特に、午後8時以降の不要な外出
- ② 混雑した時間に買い物
- ③ 普段行かない市町村との往来
- ④ 時期変更可能な帰省や旅行
- ⑤ イベント開催や参加
- ⑥ 会食時に、マスクなしで会話
- ⑦ 御家族や職場など普段接する人以外との会食
- ⑧ 5人以上の新年会や懇親会の開催
- ⑨ 飛沫感染のリスクがある行動（感染対策なしのカラオケ等）
- ⑩ 体調が悪い中での出勤等

県民の皆さまへお願い

—緊急事態宣言は引き続き発令中です—

【自分は大丈夫だ、コロナは他人事だと思わないでください】

- 人と人との接触機会を極力、減らしましょう。
- 移動はなるべく日常生活の範囲内とし、外出はできる限り短時間で混雑を避けて。
- 会食はいつも過ごしている方と。
- 特に、高齢者施設や医療機関で働く人が会食等する場合は、慎重に判断。いつも一緒にいる身近な人と。
- 高齢者の方々は、感染すると重症化リスクが高まります。会食等は感染防止対策を徹底し、一緒にいる身近な人と。

「緊急事態宣言」

発令中！